

1年次 産業社会と人間

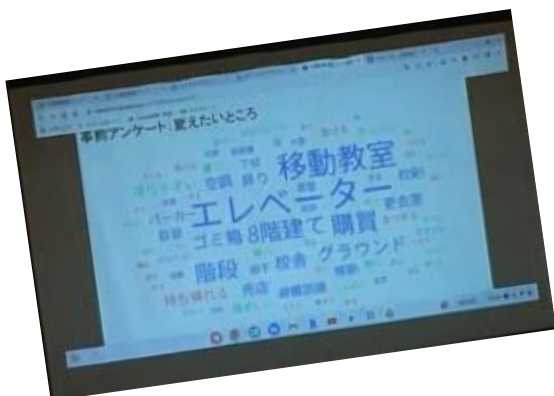
主権者教育 自分ができるところから「行動しよう」

主権者として思考・判断し、行動に移そう

5月30日の1年次「産業社会と人間」では、主権者教育の一環として自分たちの学校をテーマに実際にできることを考え、行動することの大切さを学びました。事前のアンケートで学校のよいところ、変えたいところを出してもらい、課題について自分の問題として捉え、自分たちがどう主体的に解決に向けて取り組んでいけるのかを考えました。今回は「学校」がテーマですが、それを「社会」に変えて主権者として行動できるようになってもらいたいものです。



クロームブックがひとり1台貸与されることになったので、それぞれが持参してその場で入力します。



不満を抱くだけでなく、どうしたら自分たちで変えられるかを考え、「行動」に移せる主権者になれるといいですね。